

15 シューティングヒット

I 競技の特性

野球はポピュラーなスポーツであり，児童生徒の関心は高い。本格的にゲームに取り組むだけでなく，休み時間などにもボールとバットがあれば，楽しむことができる。しかし，車椅子使用者は片手にグローブを持ちボールを捕球することは危険であり，高度な技術を必要とする。

そこで，シューティングヒットでは，守備を行わず，打球がゲートにくぐったり，ゴールに入ったりした得点を競うゲームにアレンジした。守備を行わないことから，3チーム以上の対抗戦が可能である。

II 施設・用具

1.施設

スムーズに車椅子操作がしやすい体育館など屋内が好ましい。

2.コート(図5参照)

3.用具

(1)ボール

安全面を考慮し，スポンジボールなどが望ましい。ボールサイズは，テニスボールサイズかソフトボールサイズを使用する。

(2)バット

プラスチック製のバット，テニスラケット，バドミントンラケットなど，選手にあったものを準備する。

(3)ティー

(3)防球フェンス，イラストパネル，ゲート，サッカーゴール(図1～4)

(4)得点板



図1 ゲート1

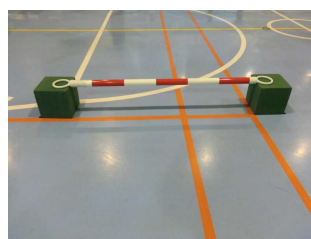


図2 ゲート2



図3 イラストパネル



図4 サッカーゴール

III 競技の方法

1.人数(チームの編成等)

体育館の広さにもよるが，1チーム5～10人程度が適当である。

2.競技の進め方

(1)各チーム代表がじゃんけんをして，先攻後攻を決め，各チームは打順を決定する。

- (2)ティーの乗せたボールを打つ、あるいは投げられたボールを打つ。
- (3)打球が、フェアグラウンドに設置されたゴールに入ったり、ゲートを通ったりすることで得点が得られる。
- (4)チーム内の全員の打席が終了したら、相手チームの攻撃にうつる。

3.主なルール

- (1)バッターは、ティーかピッチャーに投げてもらうかを決めることができる。
- (2)打席の途中で、ティーかピッチャーの選択を変更することはできない。
- (3)ファウルあるいは空振り、見逃しのストライクは、3回でアウトとなる(2ストライク後のファウルもアウト)。
- (4)ボールはカウントせず、フォアボールはない。

4.得点

得点は以下の通りである。※拓桃支援学校体育館の場合

- (1)3Fギャラリー(手すりもOK)……10点
- (2)ノーバウンドで壁やスピーカーより後方の天井、照明……8点
※スピーカーより前方はファウル
- (3)イラストパネル(ロープや紐もOK)……5点
- (4)ゲートを通り、サッカーゴールに入る……3点
- (5)ゴロで壁まで届く……2点
- (6)ゲートやサッカーゴールに当たる……1点
- (7)3ファウル、3ストライク……0点

5.勝敗の決定

両チーム7回(イニング)の攻撃終了後、得点の多いチームの勝ちとなる。
ただし、時間に制限のある場合には、その時間内での得点で勝敗を決める。

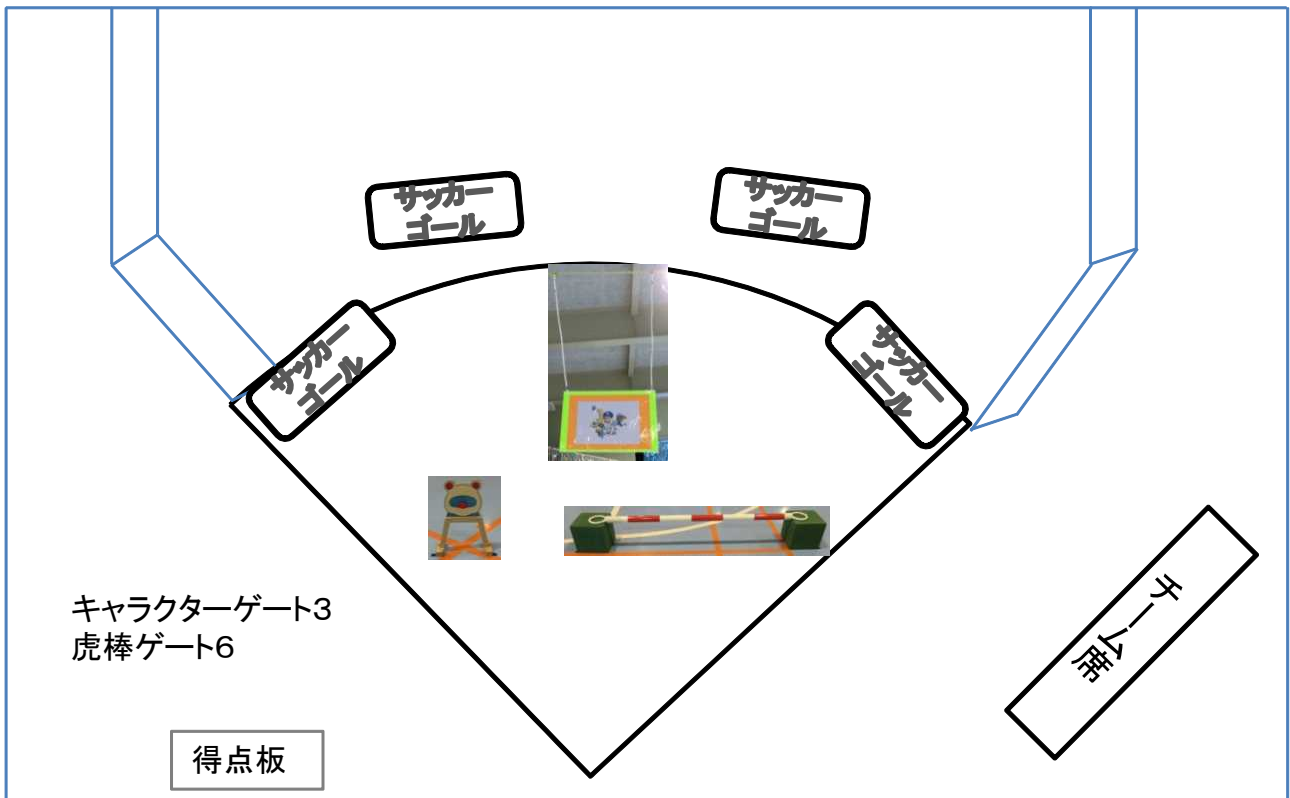


図5 全体図